

世界 10 カ国の水素エネルギー関係者が JICA 九州に！

セルビア、メキシコ、ブラジル、コロンビア、ボリビア、アルゼンチン、モロッコ、チリ、コスタリカ、更に、ウクライナの水素エネルギー政府関係者 11 名が「水素エネルギー利用の推進」課題別研修に参加しています。

2050年のカーボンニュートラルの実現を目指す欧州各国を中心に各国が相次いで水素戦略を公表するなど、世界が水素利活用促進に向けた取組を加速しています。

この研修では、水素を中心とした再生可能エネルギーの供給、利活用拡大のための政策立案、水素社会推進に関する世界的な潮流、日本の水素供給、利活用



拡大政策や技術、インフラ、ビジネス等の取組みを学び、各国における水素供給、利活用促進に向けた政策立案能力向上に貢献することを目的としています。

技術研修が終わりに近づく**3月2日(木)**、水素を安全に利用するために重要となる技術基準の整備、技術実証を学ぶため、高圧ガス保安協会による講義「水素社会実現に向けた保安」を受講します。研修員が興味津々な圧縮水素のテーマになりますので、活発な質問や意見がたくさん聞かれそうです。世界の水素エネルギー推進に大きく貢献する国際協力の取組みをぜひ取材・報道をご検討ください。

- 研修コース名 : 水素エネルギー利用の推進～ CO2フリー社会に向けたエネルギー政策
- 研修期間 : 2023年2月1日～2023年3月9日
- 協力機関 : 公益財団法人 北九州国際技術協力協会
- 取材可能日

日付	時間	内容	場所
3/2木	9:30-12:00	高圧ガス保安協会による講義 「水素社会実現に向けた保安」	JICA九州 3階セミナールーム14 福岡県北九州市八幡東区平野二丁目2-1

※本プレスリリースはウェブサイトでもご覧いただけます。 <https://www.jica.go.jp/kyushu/press/index.html>

問い合わせ先 JICA九州 研修業務課 小川、柴田 093-671-8355